

### 1 準備

チューブカッターとモンキレンチ、シールテープをご用意ください。



#### (参考)

☞ チューブカッターにはチューブサイズに合わせて、TC01、TC04、HC03を推奨します。適用チューブサイズは【表1】を参照ください。

⚠ **注意** チューブカッターを使用しない時は、刃先を広げたまにしないでください。

⚠ **注意** 継手とチューブは、配管状況の仕様を満足することをご確認ください。製品の選定を誤ると非常に危険な場合があります。

【表1】チューブカッター適用チューブサイズ

チューブカッター品番	適用チューブ外径サイズ (mm)
TC01	~13 (1/2inch)
TC04	~16 (5/8inch)
HC03	~20 (3/4inch)

### 2 シールテープの巻付け

シールテープは、ねじ部を1~2山空け、巻き方向に注意して2~2.5回転させて巻き付けてください。



### 3 継手の取付け

手で軽く締め付けた後、モンキレンチで約2回転締め付けてください。



⚠ **注意** ねじ部が樹脂製のため、締め付けすぎるとねじ部が破損したり変形し、漏れなどの原因となります。

⚠ **注意** 六角 (HEX) 部分は樹脂製のため、取り付けにはモンキレンチを使用してください。スパナは、六角部分を損傷させる可能性がありますので使用しないでください。

### 4 チューブの切断

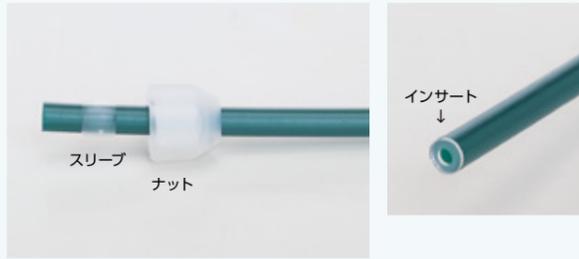
チューブカッターで、直角に切断してください。チューブの切断前にチューブ表面の汚れを拭き取り、へこみや傷、つぶれがないものを選定してください。



⚠ **注意** チューブ切断部分に汚れ、へこみ、傷、つぶれ、バリ、毛羽立ちなどがないようにカットしてください。また、チューブを斜めに切断しないでください。チューブ挿入時に継手のシール部分を傷つけ、漏れの原因となります。

### 5 ナット、スリーブの挿入(インサートの挿入)

チューブにナット、スリーブの順番で挿入してください。スリーブは、チューブ先端より1cm以上空けてください。(ポリオレフィン系樹脂チューブなど柔軟なチューブには、インサートの使用をお奨めします。)



### 6 チューブの挿入

チューブを継手の奥に当たるところまで押し込んでください。



#### (参考)

☞ ケミフィットCPシリーズのミリ・インチの区別は、スリーブ外形形状で識別しています。チューブ挿入長さはP.130~132をご参照ください。



⚠ **注意** 当社以外のチューブを接続する場合は、相当材料かつチューブの外径公差が±0.1mm以内のものをご使用ください。寸法公差を満足していない場合、漏れなどの原因となります。

⚠ **注意** チューブが継手の奥に当たっていないと漏れやチューブ抜けの原因となります。

### 7 ナットの手締め

チューブを継手の奥に押し込んだままの状態、ナットを手で一杯に締め付けてください。



### 8 ナットの締付け

手締めで固定されたナットをモンキレンチを用いて、1.5~2回転増し締めしてください。



⚠ **注意** ナットの六角 (HEX) 部分は樹脂製のため、取り付けにはモンキレンチを使用してください。スパナは、六角部分を損傷させる可能性がありますので使用しないでください。

### 9 完了

ナットとボディの間に【表2】の間隔が空いていれば、アセンブリは完了です。



【表2】ケミフィットCPシリーズナットとボディの間隔

適用チューブ外径サイズ (mm)	ナットとボディの間隔 (mm)	残りねじ山数
4	0.5	1
6	1.0	1
8	2.5	1.5
10	3.5	2
12	3.5	2
6.35(1/4 inch)	1.0	1
9.53(3/8 inch)	1.0	1
12.70(1/2 inch)	2.5	1.5

⚠ **注意** ケミフィットCPシリーズは樹脂製のため、金属ねじと比較して応力緩和現象が生じやすく、場合により「にじみ漏れ」が発生することがあります。特に高温領域では顕著になりますので、ナット部とねじ部を定期的に増し締めを行ってください。増し締めができなくなった場合は、新品と交換してください。

### 10 チューブの再取付け

チューブ先端を切り落とし、新しいスリーブ(インサート)を用意して「4. チューブの切断」からもう一度繰り返してください。チューブ表面に汚れ、へこみや傷、つぶれがないことを確認してください。

⚠ **注意** チューブの取り外しを行う場合は必ずチューブ内の圧力をゼロにしてください。

⚠ **注意** ケミフィットCPシリーズは樹脂製ですので、ナットやボディも変形している場合があります。ナット、ボディはそれぞれに損傷がないかご確認ください。損傷したナット、ボディを使用すると漏れなどの不具合の原因となります。

⚠ **注意** 内圧や熱などにより、チューブ内外径に変化がある場合はチューブも新品と交換してください。